

それゆけ！ としょかんだより



2009年1月
第22号

発行所
高野山大学図書館
閲覧室

一月もだいぶ過ぎ、お正月気分もすっかり取れた頃でしょうか。今年も「それゆけ！としょかんだより」をよろしくお願ひします。



ミニ企画コーナー

今年初めのミニ企画コーナーは本学に在学中の作家、山田真美様の特集です。興味のある方は一度借りてみてはいかがでしょうか。

山田真美様プロフィール

山田真美（やまだ まみ）
長野県出身。2006年高野山大学入学（通信教育課程）
日印芸術研究所言語センター長、日本ブータン芸術委員会理事。
作家だけでなく、テレビ・ラジオ出演など、ほかの分野でも活躍中。
2007年インド国立文学アカデミーより世界で3人目となるドクター・アーナンダ・クマラスワミ・フェローシップを受ける。

山田真美様寄贈図書

吉祥天と行くインドの旅
インド大魔法団
マンゴーの木
夜明けの晩に（上）（下）
ブラック・アンブレラ
死との対話
ロスト・オフィサー
3歳までに英語の種をまきなさい
人文思潮 066（印度生死筆記）
ブースケとパンダの英語でスパイ大作戦

図書館からのお知らせ

その1

「それゆけ！としょかんだより」のバックナンバーが図書館HP（<http://www.koyasan-u.ac.jp/tosyo/index.html>）で見られます。あのお奨め図書は何号だったのか？図書館の使い方が掲載されていたのは？これを機会にとしょかんだよりを読み返してみるのもおもしろいかもしれません。

その2

先月、図書館で行われたミニコンサートが高野山大学HP（<http://www.koyasan-u.ac.jp/>）でも取り上げられました。トピック・ニュースからみられます。よろしければご覧になってください。

全国書店売上 BEST10! Yahoo! ブックス 毎月1日のランキングです。

1月

- 『オバマ演説集 対訳』
- 『脳にいいことだけをやりなさい!』
- 『イナズマイレブン 熱血オフィシャルガイド』
- 『機動戦士ガンダ UC 8 特装版』
- 『自らの身は顧みず』
- 『5S 導入ハンドブック』
- 『甲子園への遺言 伝説の打撃コーチ高島淳宏の生涯』
- 『こえでおしごと! take1』
- 『高橋克典流↑肉体改造 タダノ体の作り方』
- 『平和の世紀へ』

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
1	2	3	4	5	6	7

	9:00-18:00		13:00-18:00
	9:00-17:00		13:00-17:00
	9:00-12:00		閉館
	9:30-16:30		13:00-16:30

切り取り

今月のおすすめ図書！

※今月は木本 滋久先生のおすすめです。

松本実道 著『洗心抄撰集』(寶山寺) 請求記号:456/セ/6

私の幼少の頃から、祖父が生駒山寶山寺を信仰し、講にも入っていた関係もあって、よくお参りしています。

五十年の長きにわたり管長であった松本実道氏が、参拝される方々とお互い心を通わせたいと考え、法語や処世の戒めの言葉を、山門横の黒板に書いておられた。私は必すまっ先にそれを読むのが常でありました。その後、寶山寺機関紙『歓喜』に掲載され、その中から抜粋して一冊の書物にしたのが『洗心抄撰集』であります。

昭和三十年(一九五五年)の「苦しい時の神頼み」から、平成六年(一九九四年)の「彼岸」まで約一五〇篇あります。一篇八〇～一五〇文字、仏教の心を基にした平易なことばで、日常生活の生き方、心の持ちようを説いています。

ちなみに寶山寺は真言律宗に属し、「般若心経」を重要な経典と位置づけていて、真言宗とも深いつながりがあります。老若男女を問わず、親しめる本です。是非一読をお奨めします。

今月の…ぴか！



一つ目小僧

漫画のゲゲゲの鬼太郎を、知らない人は少ないでしょう。鬼太郎は長い前髪で隠されていて分かりませんが、一つ目の一つ目小僧です。一つ目小僧は、妖怪の中では最も知られていますが、実はかつてわが国で信仰された神様でした。昔話の中に一つ目一本脚の怪物の話が多く見られますが、それらは零落した神々の姿なのです。

片脚のわらじを神に捧げたり、魔よけとして村はずれに置いたりする風習があり、また、片目の魚といって、目を片方だけ失った魚が住むという池の伝承を有する寺社があります。

何故、一つ目一本脚なのかが問題ですが、それは、古くの神の名代としての祭主を一般人と区別するために、一眼一脚にする風習があった

ことが指摘されています。生贄として殺された祭主^{*}の霊が、神の元から脱して山野に漂っておそろしい一つ目小僧の妖怪へと変化したと考えられています。

*祭主(さいしゅ) 祭事の主宰者

あめのまひとつのかみ
他にも天目一箇神(日本神話に登場する製鉄・鍛冶の神)との関連を指摘する説もあります。



※参考にした資料は、

『柳田國男全集』 5巻(筑摩書房, 1997年10月)です。

興味をお持ちの方は、どうぞご覧下さい。



(編集後記)

今年の初めは雪がたくさん降ってぐっと寒くなりましたね。その分、お鍋とかが余計においしく感じます。(吉)

発行所

〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山385 高野山大学図書館 閲覧室

Tel:0736-56-3835 / Fax:0736-56-5590 /

E-mail:service-lib@koyasan-u.ac.jp